

検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
 この度、下記検査項目の検査内容を変更させて頂きたくご案内いたします。
 何卒ご高承賜りますようお願い申し上げます。

敬白

記

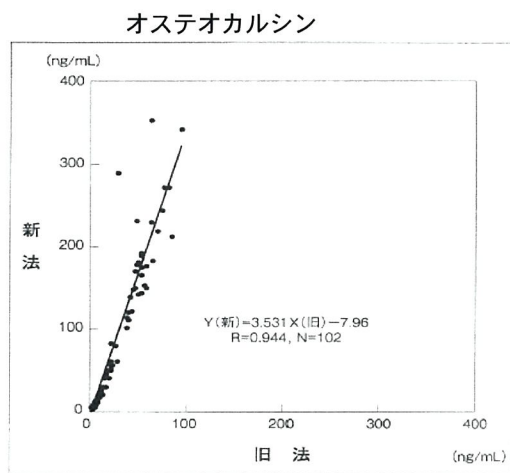
- 実施日 : 平成 28年 3月 31日 (木) ご依頼分より
- 変更項目 : 総エストロゲン (非妊婦)
 セロトニン (全血)
 セロトニン (多血小板血漿)
 オステオカルシン (BGP)
 プロテインS活性

- 変更内容 :

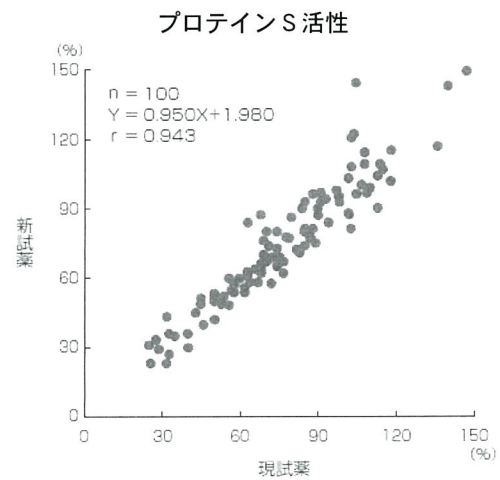
項目コード	検査項目 (グループコード)	変更内容	新	現	備考	検査案内書 掲載ページ
286	総エストロゲン(非妊婦) (5034)	所要日数	10~22日	10~16日	委託先による変更。(アッセイスケジュール見直しに伴う変更のため)	33
199	セロトニン(全血) (5023)	基準値	52.8~200 (ng/mL)	53~200 (ng/mL)	委託先による変更。(基準値桁数の見直しに伴う変更のため)	36
5120	セロトニン(多血小板血漿) (5320)	基準値	623以下 (ng/mL)	620以下 (ng/mL)		
1107	オステオカルシン(BGP) (5451)	検査方法	FEIA法	IRMA法 (ビーズ固相法)	委託先による変更。(測定試薬の販売中止のため)	37
		基準値	8.3~32.7 (ng/mL)	3.1~12.7 (ng/mL)		
		所要日数	4~7日	5~8日		
		報告下限	0.5未満 (ng/mL)	1.0未満 (ng/mL)		

項目コード	検査項目 (グループコード)	変更内容	新	現	備考	検査案内書 掲載ページ
1116	プロテインS活性 (2068)	検体必要量	血漿 0.4mL	血漿 0.3mL	委託先による変更。(測定機器老朽化に伴う測定機器および測定試薬の変更のため)	103
		検査法 表記名称	凝固時間法	APTT凝固時間法		
		基準値	M 67~164 F 56~126 (%)	60~150 (%)		
		所要日数	4~6日	4~8日		
		報告下限値	10未満	10以下		

◆ 現試薬と新試薬の比較



(委託先資料)



(委託先資料)

▼参考文献

戸来 孝, 他 : 日本臨床検査自動化学会会誌 40 : 52-57, 2015. (オステオカルシン)